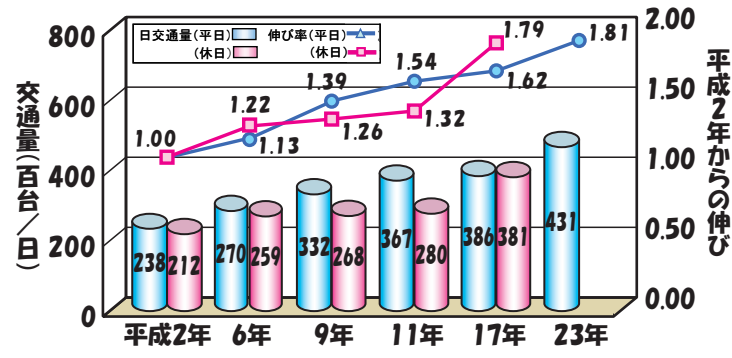


名護東道路の開通による効果

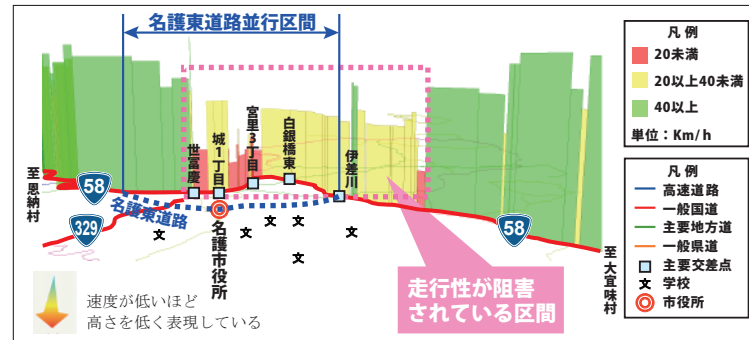
○北部地域の課題

名護市内では、年々交通量の増加に伴い、道路を走行する際の速度が遅くなるなど、走行性が悪化しており、道路の渋滞や事故が多発し、地域経済の発展に悪影響を及ぼしています。



※(H2～H17)各年道路交通センサス、(H23)交通量調査結果(H23.10.5(水))

【国道58号名護市字名護の交通量の変化】



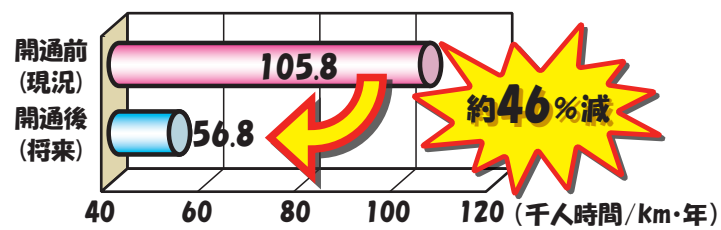
※H21年8月休日17時台のプロブデータより集計(那覇方面)

【国道58号名護市街地における旅行速度】

○開通効果

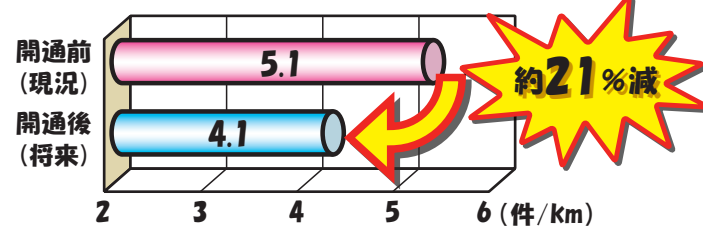
市内の渋滞が解消し、幹線道路の機能向上!

⇒名護東道路の開通により国道58号に集中していた交通が名護東道路に転換するため、交通渋滞が大幅に緩和され、スムーズな走行が可能となります。
また、交通事故も減少し、交通安全の確保に大きく貢献します。



※国道58号伊差川～数久田間を対象
 ※(現況)H21プロブ情報システム算出結果(一般・バスプロブによる算出)
 (将来)現況値をベースとして将来交通量推計を用いて算出

【開通前後における渋滞損失時間の変化】

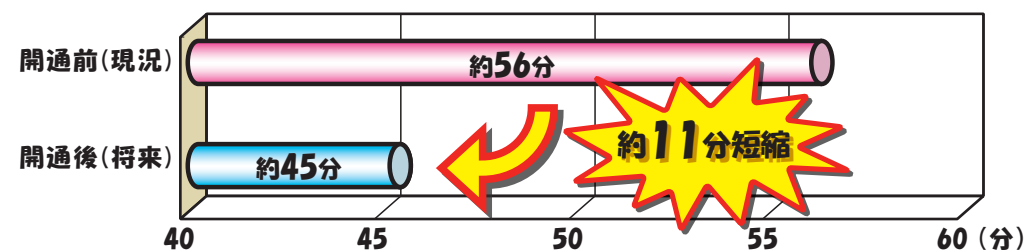


※国道58号伊差川～数久田間を対象
 ※(現況)ITARDAデータ(H18～H21)を用いて算出
 (将来)現況値をベースとして将来交通量推計を用いて算出

【開通前後における死傷事故密度の変化】

観光施設へのアクセス性向上!(所要時間の短縮)

⇒名護東道路の開通により、中南部地域から北部地域へのアクセス性が向上し、各観光拠点間の所要時間が短縮され、観光支援に大きく貢献します。



※(現況)国道58号北部地域はH19一般プロブ速度より算出、その他はH17センサス混雑時旅行速度より算出
 (将来)名護東道路は設計速度(80km/h)、その他は現況と同様

【道の駅許田～海洋博記念公園までの所要時間の変化】

名護東道路の詳しい情報は

内閣府 沖縄総合事務局

北部国道事務所

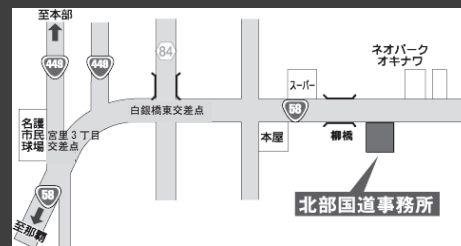
〒905-0019 沖縄県名護市大北4丁目28番34号

TEL(0980)52-4350 FAX(0980)52-1131

HP: www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/index.html

やんばろードネット

検索



平成24年3月時点



名護東道路



事業目的

- ①那覇空港、那覇港等の中南部の各拠点間のアクセス向上
- ②名護市内の交通混雑の緩和及び交通安全の向上
- ③北部地域における地域活性化の支援

北部地域の現状

- ・名護市内の国道58号沿線には、公共施設や商業施設が点在し、それらを利用する生活交通と本部半島や国頭方面へ向かう観光交通(通過交通)が混在し、交通混雑が生じています。
- ・現在、沖縄自動車道は名護市の玄関口である許田ICまで整備されていますが、名護市以北において、自動車専用道路がないため、北部地域の利便性向上、地域活性化にあたっては、沖縄自動車道と連結する自動車専用道路の整備が求められています。
- ・沖縄県北部地域においては、海洋博記念公園をはじめとした、観光施設が多く点在し、観光客の増加が見込まれており、これらの観光施設等へのアクセス向上等更なる観光支援が求められています。



【名護市内の道路交通状況】



名護東道路の計画概要

名護東道路は、前述の課題解消に向けて、名護市字伊差川と同市字数久田を結ぶ地域高規格道路^注として計画された延長6.8kmの4車線の自動車専用道路^注(無料)です。

平成9年度に事業化され、平成13年度から工事を開始し、平成23年度中に伊差川IC～世富慶IC間が暫定2車線で開通します。

今後は、全線開通に向けて、工事を進めます。

注) 歩行者、自転車、軽車両、125CC以下のバイク等は通行不可

計画概要

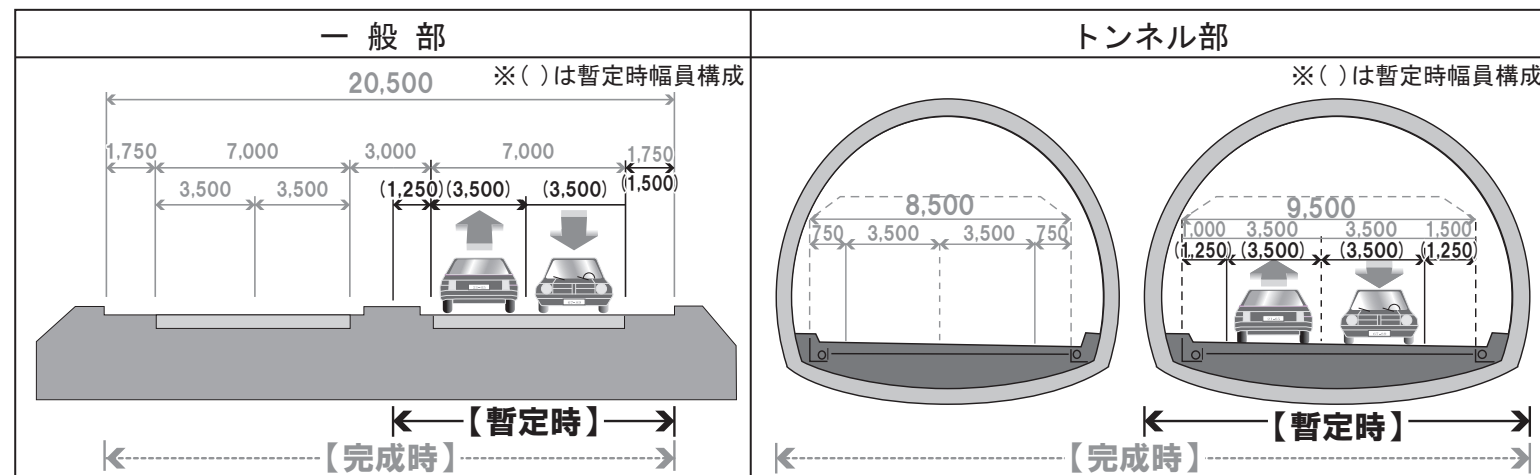
区間	名護市字伊差川～同市字数久田	
延長	6.8km	
道路規格	区分	1種3級
	車線数	4車線(2車線)

※()は暫定時

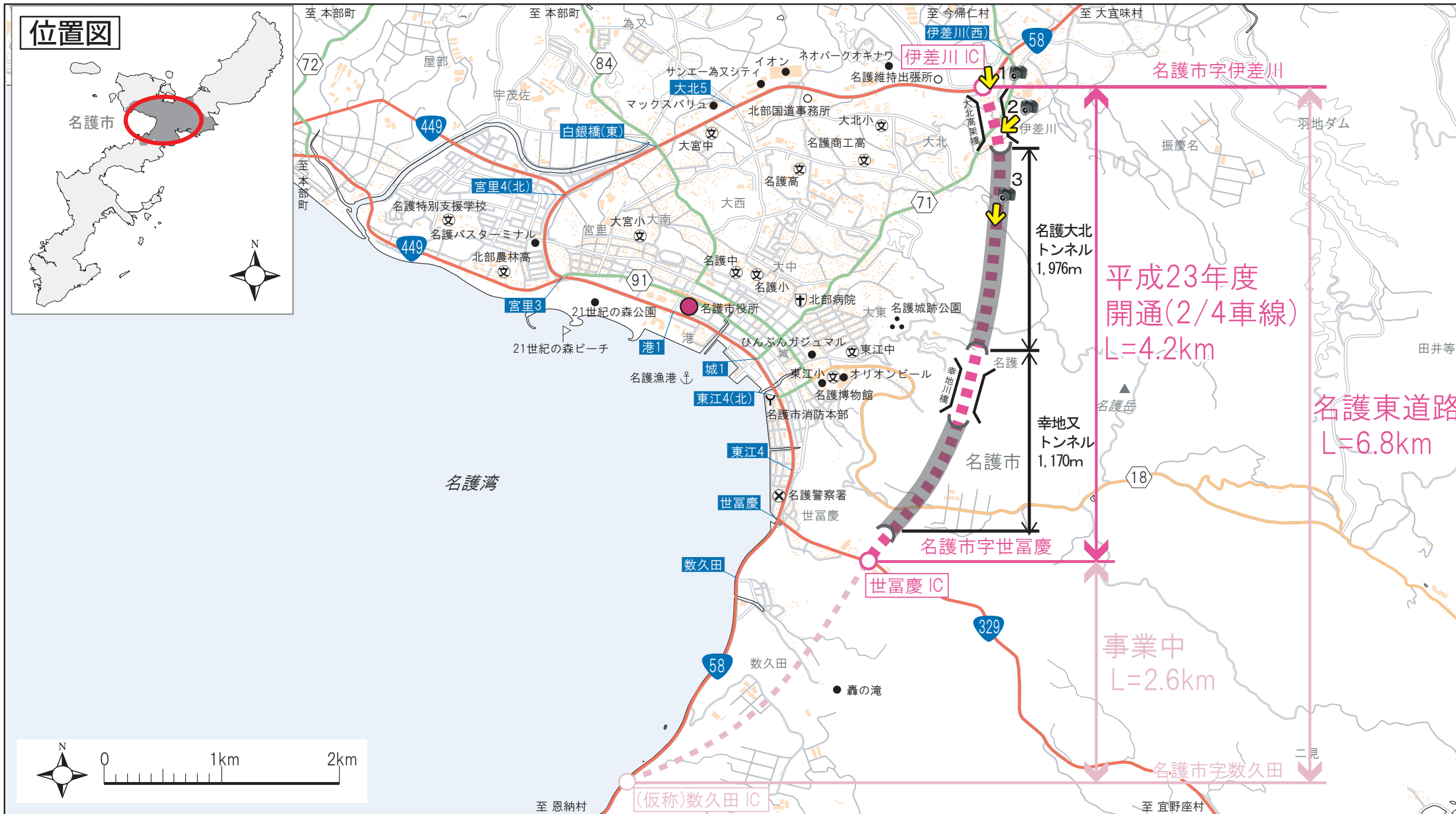
事業の主な経緯

平成9年度	事業化
平成11年度	用地着手
平成13年度	工事着手
平成23年度	伊差川IC～世富慶IC間開通(2/4車線)

標準断面図



位置図



現地状況

